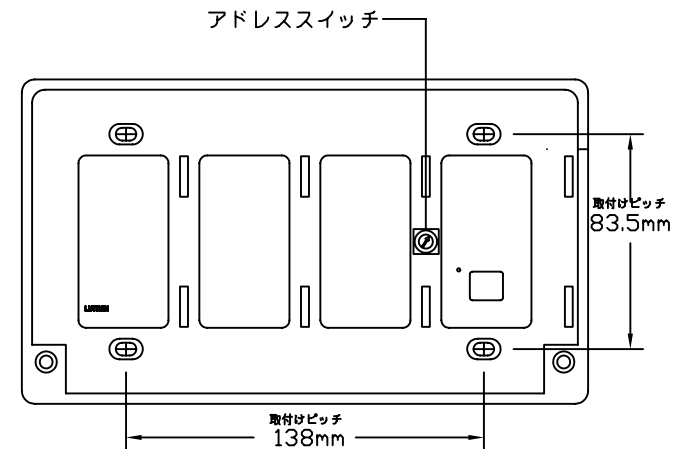


正面図
(フェースプレートを含む)

側面図
(フェースプレートを含む)



正面図
(フェースプレートを除く)

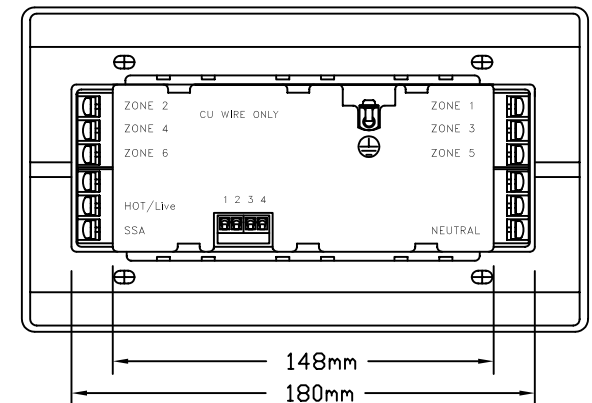
機能概要

ホームワークス・ウォールボックスパワーモジュール/HW1-WPM-6D-JAは、6回路プリセット調光器で、各回路の照度をプログラムしてコントロールします。ホームワークスプロセッサと専用ソフトウェアを使用し、各ゾーンの明るさを設定・記憶しグラフィックアイ補助コントロールやホームワークスキーパッドなどで操作します。但し、本器は設定ボタン、シーン選択ボタン等搭載してありません。

本器には白熱電球、100Vハロゲン電球、電磁式トランス使用のローボルト球が接続できます。また別途インターフェースを使用することにより電子式トランス使用のローボルト球、ルートロン製調光安定器付蛍光灯、ネオン/冷陰極管などが接続でき、照明の調光やON/OFFができます。

定格・仕様

種類	ホームワークス・ウォールボックスパワーモジュール
回路数	6
機能	グラフィックアイ3500に準ずる
定格電源	AC100V 50/60Hz
合計最大負荷容量	1600W/6回路合計
1回路適合負荷容量	白熱灯・その他100Vフィラメント型電球
適合負荷タイプ	電磁トランス付ローボルト/ネオン/冷陰極管 25W~600W/回路 電子式トランス付ローボルト球：別売インターフェースの容量を参照 弊社調光安定器付蛍光灯：別売インターフェースの容量を参照 調光用シームレス蛍光灯：別売インターフェースの容量を参照 ON/OFF制御：別売インターフェースの容量を参照
使用周囲温度範囲	0℃~40℃ (一般室内取付専用)
使用周囲湿度範囲	相対湿度 90%以下 (無結露)
使用電線	強電線 φ1.6またはφ2.0Cu(銅)単線 弱電信号線 ルートロンケーブルGRX-CBL-346S または CVVS1.25mm ² -2Cとベルデン社製 BELDEN-8776
弱電信号線最大配線長	150m
適合スイッチボックス	1ヶ口用 深型(54mm以上を推奨)
パワーモジュール接続可能台数	ホームワークス・GRXリンク1つにつき：8台まで
補助コントロール接続可能台数	パワーモジュール1台につき：3台まで
発熱量	総容量の2%以下
フェースプレート	白色プラスチック



背面図
(フェースプレートを除く)

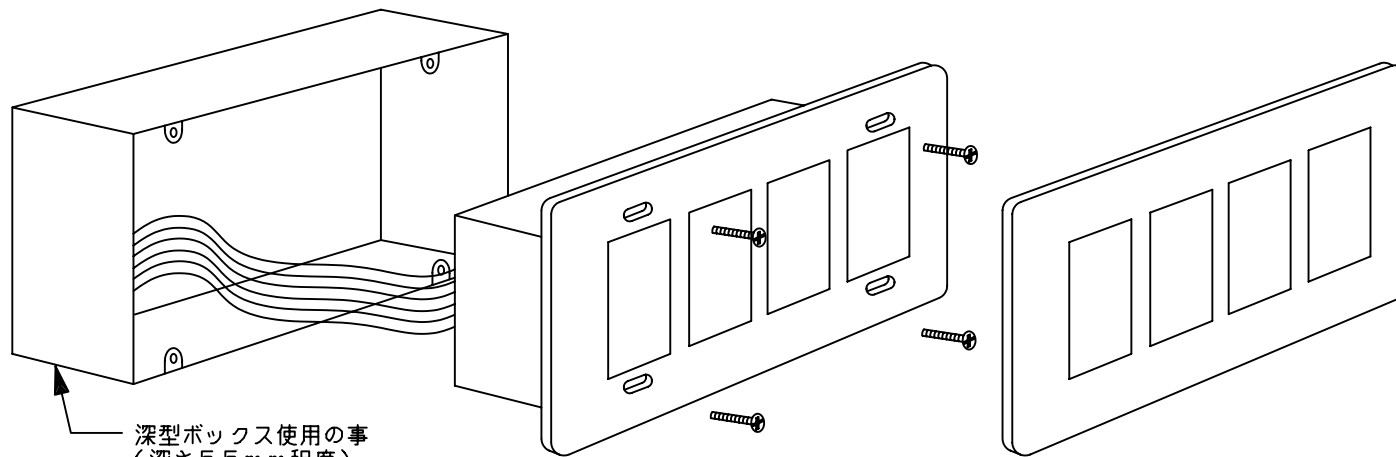


HW1-WPM-6D-JA

REVISION	1.1
RELEASED	2008.08.29
PAGE	1/4

承認	谷崎	検図	細谷	作成	谷崎
----	----	----	----	----	----

Homeworks ホームワークス
パワーモジュール 仕様書

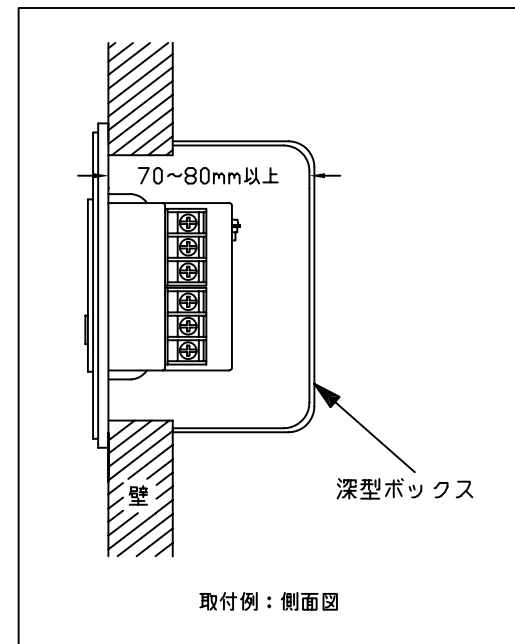


深型ボックス使用の事
(深さ55mm程度)

スイッチボックス

コントローラー
(調光器)

フェースプレート



深型ボックス


取付例：側面図

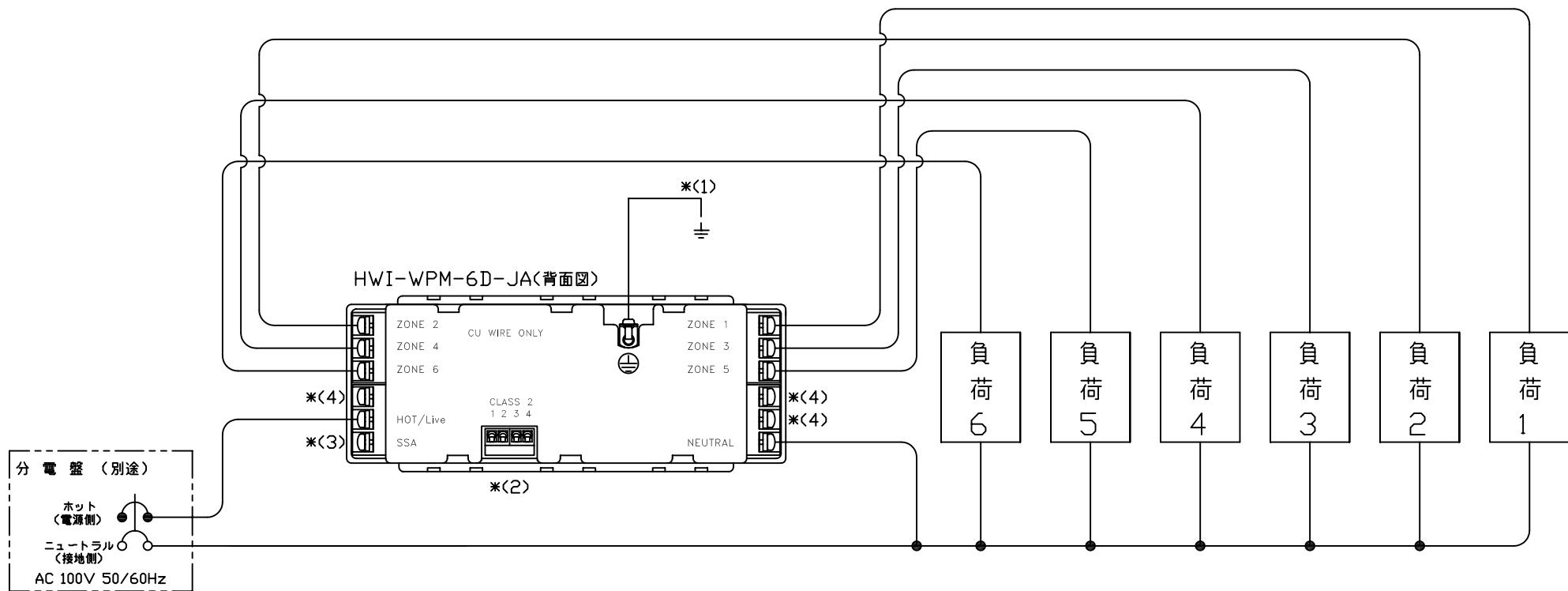
取付の際の注意事項

1. 配線は、必ず電源を切ってから行って下さい。
2. ノイズによる誤動作を防ぐために、必ずアースも接続して下さい。
3. 本機でモーター動力機器、ルートロン調光用電子式蛍光灯安定器を使用していない蛍光灯器具、電子式ローボルトトランス等、白熱灯以外の負荷を直接接続しないで下さい。また、出力側にコンセント等の受け口をつけて器具を配線しないで下さい。
4. 100V電源線を補助コントロール用弱電端子に接続しないように注意して下さい。
5. 2つの異なるゾーン出力の線を同じ電灯に接続しないで下さい。
6. 負荷または負荷配線は絶対に短絡させないでください。内部回路が壊れます。
7. メガテストの際は100Vの電圧にて関係回路全ての電源をOFFにして行って下さい。
8. NGRX-PBやその他のインターフェースを使用し、電源回路を複数使用すると漏電ブレーカがトリップする場合がありますので、漏電ブレーカの使用は出来ません。やむを得ず使用する場合はルートロンアスカ迄お問い合わせ下さい。
8. ユニットの正常動作中でも表面が暖かくなります。
9. 簡易取付金具でのコントローラの取付は不可。必ずボックス取付けとして下さい。なお、スイッチボックスは45~55mm程度の深さのあるものをご用意ください。また、壁表面から、壁の厚みを含み、配線を考慮して最低70~80mm程度の奥行きを確保できるようにボックスを取り付けて下さい。
10. 複数のコントローラを並べて設置する場合は、放熱のため、左右10mm、上下に110mm以上の間隔をあげるようにして下さい。

取付方法

1. 必ず分電盤のブレーカーで電源を切ってから行なってください。
2. フェースプレート(プラスチック表面板)を側面から剥がすようにしてははずします。
3. 電線の被覆を12mmむきます。(圧着端子使用の場合：丸形、内径3.5mm、外径8mm以下)
4. 別紙配線図によって接続をします。背面の端子台は、それぞれVVVF2.0mmまたはCV3.5mm²以下の電線を2本まで接続可能です。なお、端子台の接続ビスはしっかりと締めてください。(規定トルク：1N・m)
4極小型端子台に接続される補助コントロール用配線の電線は、CVVS1.25mm²以下の電線2本までです。
5. 配線を正しく接続したかどうか確認します。
6. 図のようにユニットをスイッチボックスに納め、取付ネジで固定します。
7. フェースプレート(表面板)をパチンと押し、はめます。
8. 電源を入れる前に総ての配線をもう一度確認してください。

 LUTRON ルートロン アスカ株式会社			HWI-WPM-6D-JA		REVISION	1.1
					RELEASED	2008.08.29
承認	検図	作成	Homeworks ホームワークス パワーモジュール 仕様書		PAGE	2/4
(高橋)	(細谷)	(谷崎)				



※(1) ノイズによる誤動作を防ぐために、必ずアースも接続してください。

※(2) 補助コントロール、本体の接続は弊社4芯ケーブルGRX-CBL-346Sをご使用ください。(100V電源線を補助コントロール用弱電端子に接続しないように注意してください) 弊社製ケーブルをご使用にならない場合、1・2番(直流電源)に使用する電線は、CVVS 1.25mm²の2芯を使用します。3・4番(信号)に接続する電線は、ベルデン社(BELDEN)-87761(より線のツイストペア、シールド付)を使用してください。なお、1台のメインコントローラから3個までの補助コントロールにDC12Vの電源を供給できます。

いずれの場合も、システム最大延長は150mとなります。

※(3) NTGRX-1Sを接続する際に使用します。接続方法は別紙をご覧ください。

※(4) この端子は使用しません。


(5) 端子台の接続ビスはしっかりと締めてください。(規定トルク: 1N・m)

(6) メガテストの際は100Vの電圧にて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。

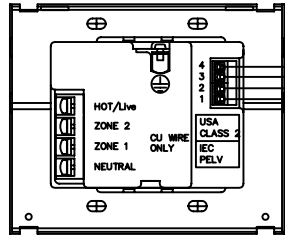
(7) パワーブースター(NGRX-PB-JA)等のインターフェースを使用する場合は、別紙(NGRX-PB-JA等)の配線図を参照して下さい。

(8) パワーブースター等のインターフェースを使用し、電源回路を複数使用すると漏電ブレーカがトリップする場合がありますので、漏電ブレーカの使用は出来ません。やむを得ず使用する場合はルートロンaskaまでお問い合わせください。

(9) 各ゾーンの負荷線・コントローラの電源線は、他の音響機器・精密機器等の電源線や信号線と同じ配管内やケーブルラックに設置したり、音響機器の配線と束ねたりしないして下さい。音響機器や精密機器からノイズが発生する場合があります。このような場合は、他機器の配線から1.8メートル以上離して配線されること、また、コントローラの電源を音響機器の電源と別相で取ることを推奨いたします。

 ルートロン アスカ株式会社			HWI-WPM-6D-JA		REVISION	1.1
					RELEASED	2008.08.29
				PAGE	3/4	
承認	(高橋)	検図	(細谷)	作成	(谷崎)	
				Homeworks ホームワークス		配線図
				6ゾーン ウォールボックスパワーモジュール		

メインコントローラー
(GRX-3102-T-JA-を例として示す)

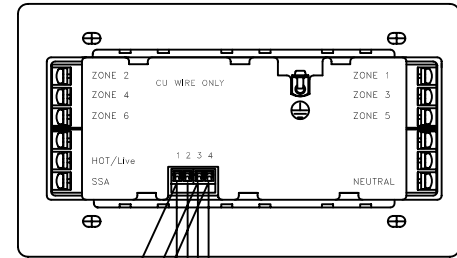


グループ1

グループ2

グループ3

HWI-WPM-6D-JA

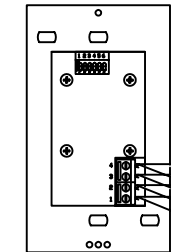


弱電の電源線
1: コモン側 (黒)
2: DC12V側 (赤)

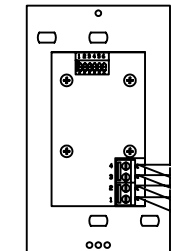
弱電の信号線
3: MUX (紫)
4: MUX (白)

* (4)
弱電の配線
1: コモン側

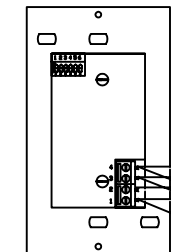
ホームワークスプロセッサ
GRXリンクへ



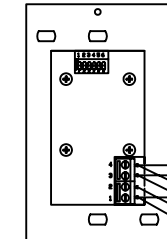
補助コントロール



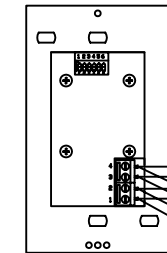
補助コントロール



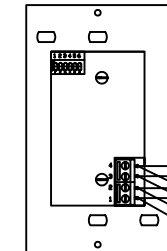
補助コントロール



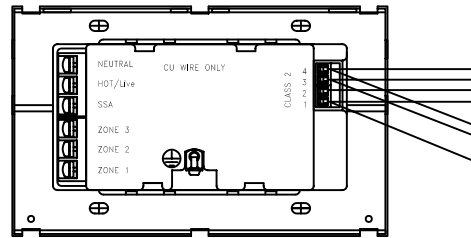
補助コントロール



補助コントロール



補助コントロール



メインコントローラー
(GRX-3103-T-JA-を例として示す)

* (4)
弱電の配線
1: コモン側

(1) ここでは3グループの弱電のコントロールの信号線と、弱電の電源線の代表的な配線例を示しています。ホームワークスプロセッサ1台につきウォールボックスパワーモジュールとグラフィックアイメインコントローラを最大8台まで接続でき、それぞれに補助コントロールを3台までつなげられます。ただし、システム全体で、補助コントロール設置可能台数は、16台までとなります。信号線は最大延長150mとなります。

(2) 弱電線配線にはルートロケケーブルGRX-CBL-346Sをご使用下さい。1台のメインコントローラから補助コントロール3台分までDC12Vの電源を供給できます。各端子には、 1:黒 2:赤 3:紫 4:白の順でお使い下さい。

1・2番はDC12Vの電源線、3・4番は信号線となっております。

(3) もしルートロケケーブルをご使用にならない際は、以下の電線を使用して下さい。

1・2番 : CVVS 1.25mm²-2C

3・4番 : BELDEN-87761

ベルデンケーブルどうしをつなぐ時は各ケーブル内のドレインワイヤーを必ず隣接しているドレインワイヤーと接続して下さい。

* (4) 2台以上のウォールボックスパワーモジュール、グラフィックアイメインコントローラを接続する場合、DC12Vのプラス側の線(2番の線)は、そのグループの補助コントロールだけに配線し、別のグループのメインコントローラには配線しません。コモン側の線(1番の線)は送り配線にて全ての機器に接続して下さい。

(5) ケーブルの結線は、本図の様に全システムを送り配線(一筆書き)とし、もし、途中にて分岐する場合は、本線から2.4mまでとして下さい。

(6) これらの信号線は、100Vや200Vの電源ライン及び100V調光出力線と同じ配管、ケーブルラック内に引き回さないようにして下さい。もし、同一とすると調光信号が正しく送られず誤動作の原因となる場合があります。

LUTRON
ルutron アスカ株式会社

HWI-WPM-6D-JA

REVISION	1.1
RELEASED	2008.08.29
PAGE	4/4

承認	高橋	検閲	細谷	作成	谷崎
----	----	----	----	----	----

Homeworks ホームワークス
6ゾーン ウォールボックスパワーモジュール

弱電線配線図